



■2025年7月の予定表をお送りします。

7月も割と予定通りの練習回数が確保できそうです。ただし、6月からすでに35度の猛暑日もあり、このままで危険な暑さになることも…。熱中症対策を各自十分に取っていただくとともに、WBGTアラームが「危険」となった場合は、活動を中止します。また、この時期は落雷も心配ですが、落雷検知器を常備しておりますので、危険と判断した場合は中止します。

■公式戦に向けて



いよいよ関西ジュニア、中体連やサマージュニアと、公式戦がはじまります。関西ジュニアには谷山紗希選手が出場できそうで楽しみです。また中体連は、共栄ジュニアメンバーが何人か出場するので、

こちらも近畿大会出場を期待しています。サマージュニアは日程変更で、低年齢は9月20日～に変更されました。中体連も含めてジュニアのすべての試合がノーアド、ノーレットになります。サマージュニアからが、次の京都ジュニアに向けてのポイント競争となりますので、頑張りましょう！

■暑くなるので体調管理に注意！！



練習には多めのドリンク(できればスポーツドリンク)タオルをお忘れなく！手洗いとうがいを励行し、睡眠と食事もしっかり取って、免疫力の低下に注意！

テニスの豆知識 106

■ノーアド・ノーレット

ジュニアの試合はノーアド・ノーレットになってしましました。ノーアドについては以前も書きましたが、「どこかで2ポイント連取しない限り勝てない。」というテニスの基本的な競技特性をなくしてしまったのです。それによって40-40の次の1本目の重要性が非常に大きくなり、プレーが大きく影響されることになりました。30-30の次の1本目と40-40からの1本目に対する考え方にはDUCEマッチの場合、基本的には似たようなもの(いかにしてこの後2ポイント連続して取るか)なのですが、ノーアドの40-40の場合、「この1本さえ取ればゲームを取れる。」ことになり、逆に言えば「この1本を落とせばゲームを失う。」こととなります。そこで多くの子供たちは「つなぐテニス」を選びがちです。似たようなレベルの相手だとすれば、「攻めた方がミスって負ける。」ケースが多いことを、みんな知っているからです。しかし本当に強い選手は、ここで1本を取りに行きます。つないでポイントを取り切れれば、それはそれで、その選手のスタイルだとも思いますが、できればそこで攻めてポイントを取り切れる選手になってほしいと思います。ノーレットについては、全く意味がないように思います。テニスの勝敗に偶然性が加わっても面白味が増すとは思えません。時間短縮のためというのは、こじつけの理由に思えます。



■中学総体は7/12～、サマージュニアは8/2～です。

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ（京都共栄学園内）

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>
代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail : info@kyoei.ed.jp

